

事業計画書

団体名	特定非営利活動法人スノック
事業名称	「未来を創るスタディサークル」
事業実施期間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 令和5年4月1日～令和6年3月31日
1. 事業の目的	<p>長期的な視点(複数年単位)で記入</p> <p>(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) 「社会的つながり」が希薄化することによる、「他者との学び合い」の機会の減少</p> <p>(2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) 家庭や職場以外での場での他者との交流が減少しており、様々な背景を持つ他者との対話が少なくなってきたと感じたため</p> <p>(3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) 資本主義社会の高度化により、全てがお金で解決できるようになってしまい、他者との協働や贈与の必要性が重視されなくなったため。</p> <p>(4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) 新しい「都市型のコミュニティ」を創る為、スウェーデンのスタディサークルを参考に「学び合う場」を定期的で開催する。</p>
	<p>(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) 「未来を創るスタディサークル」を定期開催することで、多種多様な人があつまるコミュニティ活動を活性化させる</p>
	<p>事業実施期間の視点(単年度)で記入</p> <p>(6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 <枚方市民への効果> (誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること) ・「未来を創るスタディサークル」の参加者同士が対話を続けることで、自分達が生活する枚方市にこれからどのようなモノ・コトが必要なのかという議論が熟成される。また、議論を通じて他者との学び合いが繰り返される中で、全人格的な成長が促進され、地域課題や政治への関心が高まり、参加者自身が自発的に社会参加に取り組むきっかけ作りになる。 ・実例として「未来を創るスタディサークル」を通じて、スノックの活動に共鳴して、一緒に活動をする仲間となったメンバーが2名います。2名の方とこれからどのような取り組みが必要かと議論をする中で、「子供向けのスタディサークル」や「企業向けのスタディサークル」という新規事業を3月に開催することとなりました。 <確認方法> (参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること) ・スタディサークル参加者に対し、アンケート調査を実施する。 ・LINE グループ等による感想の共有</p>
	<p>2. 事業内容等</p> <p>(1) 事業の対象者(例:枚方市内に住む10代から20代の人 など具体的に) ・枚方市(近隣市在住者含む)在住の市民全般 ・生涯学習やリカレント教育に興味がある枚方市民や他地域の住民</p>

	<p>(2) 事業の実施場所 (移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること) ・枚方市総合文化芸術センター・サプリ村野・生涯学習センターなど ・オンライン</p>
	<p>(3) 事業内容 「未来を創るスタディサークル」を定期的開催する。「未来を創るスタディサークル」で学び合うテーマについては、参加者同士で「今何を学びたいと思っている」のか、また「何を学ぶ必要があるのか」について対話を深めながら決定する。決まったテーマについて理解を深めるために必要であれば、外部講師に話題提供を依頼したり、テーマに合致した書籍や映画等を題材にして学ぶ。また必要であればスタディツアー等も実施する。</p>
<p>3. 実施スケジュール</p>	<p>(事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること) ※添付も可 別紙「実施スケジュール」参照</p>
<p>4. 事業実施の体制</p>	<p>(1) 人員体制 (実施にあたり必要と想定する人員・配置人員の経験やスキル等を記入すること) ・「未来を創るスタディサークル」の運営スタッフ 各回4名前後 (ファシリテーター1～2名、ホームページ作成、SNS 広報、参加者管理、会場設営、写真撮影、オンライン会議ソフト管理、</p> <p>(2) 事業対象者の見込み数 (例: 参加者●名など現時点の想定人数を記入すること) 参加者 10名 (※運営スタッフは除く) ×8回 延べ80名程度</p> <p>(3) その他の体制 (寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること) 協力団体: Study Circles Japan ※「Study Circles Japan」はスタディサークルの理念を日本に紹介し、スタディサークルを通じて日本と世界との橋渡しをすることを目指している団体です。「Study Circles Japan」よりスタディサークルの理念や運営方法をアドバイス頂きながら、協働してスタディサークルを開催していきます。 寄附者: 当法人理事・活動に賛同してくれている個人 (スタディサークル参加者など)</p>
<p>5. 自立的・継続的に活動していくための工夫</p>	<p>(賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること) 今後、スタディサークルを企業内での研修コンテンツとして広め、事業費を得ることも計画しており、今年度3月には介護職を主な参加者として想定した未来型読書会 (アクティブブックダイアログ) を開催します。また子ども達に対しても対話を重視した学び合いの場を提供することを予定しており、3月には「こども哲学」のワークショップを開催し、子育てに関する助成金の確保を目指しています。</p>
<p>6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み</p>	<p>スタディサークルでの学びの質を高めるために、話題提供ができる人物を人選し、スタディサークルに参加してもらった。(スウェーデンで実際にスタディサークルリーダーをしていた方や、元日欧文化交流学院院長にも講演をお願いした)。話題提供者が遠方であっても参加してもらえるように、ハイブリッド型 (オンライン&リアル参加) のスタディサークルにも取り組んでいる。(元日欧文化交流学院院長の銭本氏は現在は日本医療大学で講師をしておられ、札幌市からのオンライン参加であった)</p>

7. 事業のPR方法	<p>(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当法人ホームページ ・FACEBOOK、INSTAGRAM、コクチーズ、PEATIX、activo等での告知 ・枚方市広報（サプリ村野学校での開催の場合）、ひらせんナビ、地域掲示板等
8. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定	<p>助成金等の予定 <input checked="" type="checkbox"/> 有り (申請中を含む) ・ 無し (本補助金のみ)</p> <p>助成金等の名称 (大阪コミュニティ財団)</p> <p>申請中の場合、申請結果が確定する予定日 (令和5年3月頃の見込み)</p>
9. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など	<p>令和4年度からスタートした事業ですが、参加者の方々の再参加率が非常に高く、参加者の背景（職業・年齢層・問題意識など）も多岐にわたっています。私達のイベントを通じて、参加者同士の学び合いが回を重ねるごとに促進されており、今後社会教育の場として今後重要な役割を果たすことが可能だと感じています。</p>

2023年度「未来を創るスタディサークル」実施スケジュール（予定）

特定非営利活動法人スノック

■ 第1回開催スケジュール

2023年4月上旬 会場予約・事前打ち合わせ・講師派遣依頼・ホームページ（SNS 含む）掲載など

2023年5月上旬 2023年度第1回「未来を創るスタディサークル」開催

2023年5月上旬 スタッフ振り返り

■ 第2回開催スケジュール

2023年5月中旬 会場予約・事前打ち合わせ・講師派遣依頼・ホームページ（SNS 含む）掲載など

2023年6月中旬 2023年度第2回「未来を創るスタディサークル」開催

2023年6月中旬 スタッフ振り返り

■ 第3回開催スケジュール

2023年6月中旬 会場予約・事前打ち合わせ・講師派遣依頼・ホームページ（SNS 含む）掲載など

2023年7月下旬 2023年度第3回「未来を創るスタディサークル」開催

2023年7月下旬 スタッフ振り返り

■ 第4回開催スケジュール

2023年7月下旬 会場予約・事前打ち合わせ・講師派遣依頼・ホームページ（SNS 含む）掲載など

2023年9月上旬 2023年度第4回「未来を創るスタディサークル」開催

2023年9月上旬 スタッフ振り返り

■ 第5回開催スケジュール

2023年9月上旬 会場予約・事前打ち合わせ・講師派遣依頼・ホームページ（SNS 含む）掲載など

2023年10月上旬 2023年度第5回「未来を創るスタディサークル」開催

2023年10月上旬 スタッフ振り返り

■ 第6回開催スケジュール

2023年10月上旬 会場予約・事前打ち合わせ・講師派遣依頼・ホームページ（SNS含む）掲載など

2023年11月下旬 2023年度第6回「未来を創るスタディサークル」開催

2023年11月下旬 スタッフ振り返り

■ 第7回開催スケジュール

2023年11月下旬 会場予約・事前打ち合わせ・講師派遣依頼・ホームページ（SNS含む）掲載など

2024年1月下旬 2023年度第7回「未来を創るスタディサークル」開催

2024年1月下旬 スタッフ振り返り

■ 第8回開催スケジュール

2024年1月下旬 会場予約・事前打ち合わせ・講師派遣依頼・ホームページ（SNS含む）掲載など

2024年3月上旬 2023年度第8回「未来を創るスタディサークル」開催

2023年3月上旬 スタッフ振り返り

※会場の予約状況等により実施月は変更の可能性があります。

以上

「未来を創るスタディサークル」



現在私たちは事業の一環として「未来を創るスタディサークル」を開催しております。

私達は「社会的つながり」の中で様々なことを学びあってきました。「社会的つながり」は様々な他者と、学び合い認め合うことを可能にし、それは個人の変容・成長の場でもあり、その営みは「人生の喜び」でもありました。しかし今の日本では「社会的つながり」がますます希薄になってきているように感じます。これから求められる「社会的つながり」は今までの様な地縁的なコミュニティではなく、より目的意識をもったコミュニティだと考えています。

スウェーデンでは「スタディサークル」という「学び合いのコミュニティ」が長期にわたり人々から受け入れられています。スウェーデンの人々にとって「スタディサークル」はなくてはならない「都市型のコミュニティ」として確立しています。

「スタディサークル」は仲間との学び合いの中で、自分の存在意義を見つけ出し、人々を孤立した個人から社会に接続する役割を果たします。

スタディサークルとは

「スタディサークル」はスウェーデンで1902年にはじまりました。当初スタディサークルは「ピア・サークル」「自習グループ」とも呼ばれていました。スタディサークルは教育水準の低い人々が政治に参加し、活躍するための手段となり、20世紀初めの民主化運動で非常に重要な役割を果たしました。

スタディサークルは「Folkbildning」という言葉で表現されます。「Folkbildning」

には「参加者が互いに学び合う自由な学習」という意味があり、参加者は学びたいことを自由に選択することができ、参加は自発的であることが求められます。

2015年には、約27万回のスタディサークルが開催されました。スウェーデンでは「学ぶ」ことは「生きる喜び」として捉えられており、スタディサークルは人々が「生きる喜び」を実感する場となっています。



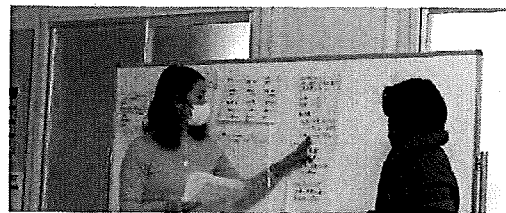
スタディサークルの特徴

スタディサークルは1回だけ参加するという様なセミナー形式ではありません。5名から10名程度の参加者が継続的に学び合う場です。自分達で発見した課題を、自分達で解決していきます。

スタディサークルでは「対話」を重視します。対話の重要性を半ば強制的に意識できる場ともいえるかもしれませんが、参加者同士で対話を続けることで、多様な意見を受け入れ、自分の視野を広げていくことの重要性に気付くことができます。

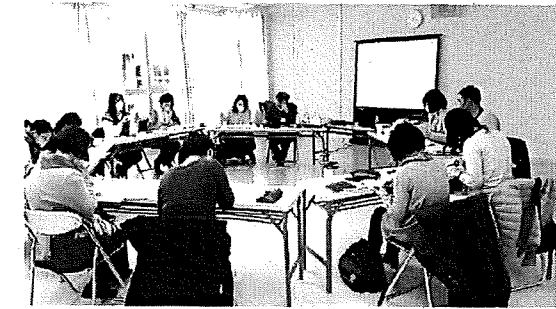
また、今の日本では誰かが決めた「正解」というものが既に用意されすぎているのかもしれませんが、スタディサークルでは用意された「正解」に疑問を投げかけ、「正解」を模索していくプロセスを体験することで、話し合いながら折り合いをつけるということを学びます。「話し合いながら折り合いをつける」ということは「民主主義の土台」であり、自分達が生きる環境を自分達で創り上げるということに繋がります。

1990年代半ばにおこなわれた政府調査では、学習サークルへの参加には、地域の問題や政治への関心を高め、社会参加を促進する機能があるということが、公式に確認されました。



スタディサークルで大切にしたいこと

- ・お互いがお互いから刺激を受けることを大切に
- ・みんなで知識を探究し、理解を深めていく
- ・参加者同士の対等性・平等性（先生はいない）
- ・運営は全員の話し合いにより自律的に進められる
- ・「We」（私たち）という意識。みんなで一つという考え方
- ・成績をつけたり、競争したりする場ではないこと。
- ・一人も置き去りにしない
- ・参加者それぞれがサークルに貢献すること。誰かが提供する学びの場ではなく、自分達で作る学びの場であるということ。
- ・会話への投資。時間をかけて話することに意味があるという考え方



今年度 延べ7回開催 延べ参加人数 約60名（予定）

- ・令和4年6月 テーマ：「国の借金1200兆円って？」
- ・令和4年8月 テーマ：「国の借金1200兆円って？」
- ・令和4年9月 テーマ：「人生を豊かにする学びとは」
- ・令和4年11月 テーマ：「ホイスコーレについて学ぶ」
- ・令和4年12月 テーマ：「ホイスコーレについて学ぶ」
- ・令和5年2月 テーマ：「幸せの国」デンマークの「福祉」と「教育」を学ぶ
- ・令和5年3月 開催予定



NPO法人 スノック
URL : <https://snok.org>
E-mail : info@snok.org

事業収支予算書

団体名： 特定非営利活動法人スノック

補助対象事業の名称：	「未来を創るスタディサークル」
------------	-----------------

事業実施期間： 令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月

【収入の部】

(単位：円)

項 目 ※ 1	予算額	内容説明 (積算根拠等)
枚方市補助金(一般) (A)	177,000	補助金交付申請額 (一般寄附)
枚方市補助金(団体) (B)	0	補助金交付申請額 (団体希望寄附)
自己資金	24,400	
合 計 (C)	201,400	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予算額	内容説明 (積算根拠等)	
補助対象経費	開催会場賃借料	18,400	2,300円×8回=18,400円 (枚方総合文化芸術センターマルチスペース 2 13時～17時)
	謝金 (講師)	20,000	10,000円 (講師謝金1回3時間)×2回=20,000円 (参考：講師に係る謝礼金の取扱基準 (大阪市) 大学教授の1時間あたりの謝礼金基本額 7100円)
	旅費交通費	65,600	事前ミーティングなど 3,620円×8回=28,960円 (4名分) イベント当日分 3,620円×8回=28,960円 (4名分) 会場予約・支払・チラシ印刷など 320円×24回=7,680円 (4名分)
	消耗品費	15,000	書籍・A4用紙・マジック・ボールペン・養生テープ・延長コードなど
	印刷製本費	20,000	資料・チラシ印刷代
	通信費	38,400	ZOOM使用料 2,200円×12か月=26,400円 ポケットwifiレンタル代 1,500円×8回=12,000円
	運搬費	0	
	備品購入費	0	
小 計 (E)	177,400		
補助対象外経費	食糧費	24,000	3000円×8回=24,000円
小 計	24,000		
合 計 (D)	201,400		

- ※ 1 : 事業に係る収入はすべて記入してください。
- ※ 2 : 収入の合計 (C) = 支出の合計 (D) となるように記入してください。
- ※ 3 : 枚方市補助金(一般) (A) は、補助回数により記入可能な金額が異なります。
(詳細は、募集要項及び別シート「チェックリスト」を参照すること)
- ※ 4 : 枚方市補助金(団体) (B) は、個別に通知した団体希望寄附額が上限です。
(通知がなかった or 今年度の申請を希望しない場合は、0円と記入すること)